

平成22年5月26日

平成22年度科学技術振興調整費 新規採択について

独立行政法人 科学技術振興機構の「科学技術振興調整費」の新規事業に、広島大学から提案の下記の2件が採択されました。

記

プログラム名：女性研究者養成システム改革加速
提案課題：広大システム改革による女性研究者活躍促進

【概要】理・工・農学分野での女性研究者を安定的に増やす仕組みや、昇級を促進させる特徴ある施策、独自養成として上位職を採用する計画等を提案した。

女性研究者養成のための取り組みとして、人材育成推進室に「女性研究者キャリアアップ部門」を置き、全学レベルの教員養成システム（メンタリングシステム、研究支援・研究スキルアップ支援システム、研究者コミュニティ支援システム）を構築する。

本課題の実施により、理工農系研究科の女性教員数が倍増する。また男女共同参画推進室および競争的資金獲得戦略室と連携して教員育成システムを運用することにより、女性教員の教育・研究における活躍が促進する。

実施予定期間 平成22年度～平成26年度（5年間）

プログラム名：若手研究者の自立的な研究環境整備促進
提案課題：国際サステナブル科学リーダー育成システム

【概要】循環型持続的社会的基盤の形成に貢献する「サステナブル科学」研究分野の国際拠点の構築を目途に、革新的かつ創造的に研究・教育を展開できる若手リーダーの育成を目指して、テニュアトラック制を導入する。

国際公募で選考されたテニュアトラック講師は、独立した研究環境のもとで協力研究科や研究グループの支援を受けて当該課題に挑む。第三者機関であるテニュアトラック評価委員会（外部委員を含む）は、テニュアトラック講師の選考やテニュア審査過程、テニュアトラック制度の定着状況を評価する。その評価結果を受けて制度設計を再検討し、広島大学型の若手人材育成システムを確立する。

実施予定期間 平成22年度～26年度（5年間）

※テニュアトラック制度

『第3期科学技術基本計画』第3章-1-(1)-2「若手研究者の自立支援」より引用

公正で透明な人事評価に基づく競争性の下、若手研究者に自立性と活躍の機会を与えること通じて、活力ある研究環境の形成を指向することとし、特に、世界的研究教育拠点を目指す大学等においては、人材の流動性向上、分野の事情等に配慮しつつ、テニュアトラック制（若手研究者が、厳格な審査を経てより安定的な職を得る前に、任期付きの雇用形態で自立した研究者としての経験を積むことができる仕組み）をはじめ、若手研究者に自立性と活躍の機会を与える仕組みを導入することを推奨する。また、大学においては、若手研究者の活躍を一層促進するため、助教の確保と活躍の場の整備がなされることが望まれる。

国は、このための環境整備（スタートアップ資金の提供、研究支援体制の充実、研究スペースの確保等）に組織的に取り組む大学等を支援するとともに、大学等の取組状況を組織に対する競争的な支援制度の審査の一指標とする。また、若手研究者が研究スペースを確保できるような大学の施設マネジメントを促進する。

【問い合わせ先】

学術室 学術企画グループリーダー 佐々野克美 TEL:082-424-5860 FAX:082-424-6990
--